

今年からビジョンの将来像の実現に向けて、様々な取組みを進めていきます。

まちなかウォーカブル推進プロジェクト

◀ 11月5日(日) 浦和区民まつり2023(さくら草通り) ▶

浦和区民まつり2023にブースを出展し、皆さんに楽しんでもらいながら、ウォーカブルについて考えていただくイベントを開催しますので、ぜひ足を運んでください。



外で遊ぶと
楽しいね月



どれにしようかな〜!?



♪ 昨年の浦和区民まつり2022 ♪
さくら草通りで子どもたちに風船を配り、人工芝を敷いたスペースで遊んだり休憩したりしてもらうことで、普段のさくら草通りとは違った体験をしてもらいました。

同時開催

MSCTY × 浦和 (ミュージシティうらわ)

MSCTY (ミュージシティ) って?

Music (音楽) + City (まち) = MSCTY
音楽と場所を繋ぎ、新しい都市体験を生み出す、2010年に英ロンドンで誕生した音楽プラットフォームです。シンポジウムに登壇していただいたニック・ラスコム氏が創設者で、世界各地で様々なプロジェクトを展開しています。



展示イメージ © 平野利樹



Nick Luscombe © MSCTY

浦和区民まつり2023では、MSCTY×浦和の第一弾として、浦和について見て、触って、感じる事ができるイベントを企画しています。

浦和都市デザインプロジェクトが始動！

建築家の隈研吾氏、東京大学の平野利樹氏、東洋大学の水村容子氏、MSCTY創設者のニック・ラスコム氏が話し合う「浦和都市デザインプロジェクト」を開催しました。ここでは、「浦和らしさの探求」をテーマに、浦和で大切にしていってほしいことなどについてご意見を頂きました。内容については11月の浦和区民まつりで公開を予定しています。



○隈研吾氏

これまで長くまちづくり計画に関わることは初めてで、浦和のまちに愛着が湧いてきた。ビジョンが策定され、いよいよ実行する時期になり、浦和のまちがどうなるのが非常に楽しみ。

○水村容子氏

日本人は、座っている時間が世界一長いといわれている。一つの大きな目的地で完結するのではなく、遠回りでもよいので、周辺の施設へ誘導するようなウォーカブルなまちがいいのでは。

○平野利樹氏

11月5日の浦和区民祭りでMSCTYの展示物が出せればと思っている。「音とまち」の観点は、これまで着目されていなかったのが先進的な事例になると思っている。

浦和駅西口駅前広場の再整備を検討しています

浦和駅周辺の更なるにぎわい創出に向け、浦和駅西口南高砂地区第一種市街地再開発事業にて拡張される駅前広場を中心として、「居心地がよく歩きたくなる」ウォーカブルな空間の検討を行っています。



「活動の空間」として多様な利活用が可能な汎用性の高い広場空間



「県都・浦和の顔」に相応しい品格と質を兼ね備えた駅前広場



6月16,17日に、浦和駅中ノ島地下通路にて、「オープンハウス（パネル展示）」を開催し、3000人以上の方に検討案をご覧いただき、ご意見を伺いました。

出前講座への申込みを募集しています

皆様が開催する集会等に職員が出向いて、浦和駅周辺まちづくりビジョンについてわかりやすく説明いたします。

申込方法等につきましては、QRコードより市ホームページをご確認ください。その他ご不明点等がございましたら、下記までお問合せ下さい。

【問い合わせ先】

さいたま市 都市局 都心整備部 都心整備課
電話：048-829-1577 FAX：048-829-1937
メールアドレス：toshin-seibi@city.saitama.lg.jp



出前講座の詳細はこちら

